

平成 29 年（2017 年）4 月 11 日

NII 准教授の吉田悠一が若手科学者賞を受賞

平成 29 年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所（NII、所長：喜連川 優、東京都千代田区）情報学プリンシプル研究系准教授の吉田 悠一が、文部科学省が本日 4 月 11 日に発表した「平成 29 年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰」で「若手科学者賞」を受賞しました。

吉田准教授の受賞に関する情報は以下の通りです（年齢は本年 4 月 1 日現在）。

- 氏 名： 吉田 悠一（よしだ・ゆういち）
- 年 齢： 32
- 職 名： 国立情報学研究所 情報学プリンシプル研究系 准教授
- 業 績 名： 定数時間アルゴリズムの研究
- 業績概要： 定数時間アルゴリズムとは計算時間が入力長に一切依存しないアルゴリズムであり、巨大データを扱う上で非常に有用な技術である。定数時間アルゴリズムにおける理論的に究極の問いは「どの様な問題が定数時間で解けるのか」を明らかにすることである。
- 氏は、関数の性質の判定問題や制約充足問題のうち定数時間で解くことができるものの必要十分条件を与えた。また広範なグラフの性質の判定問題や最適化問題に対する定数時間アルゴリズムを与えた。
- 本研究成果は、定数時間アルゴリズムに対する重要な問いを解いただけではなく、そこで用いられている他の数学理論の発展にも寄与すると期待される。
- コメント： 「このような荣誉ある賞を頂けることを大変光栄に思っています。本研究を進めるにあたってお世話になった共同研究者、また日頃から温かく支えてくれる家族に感謝します。定数時間アルゴリズムの世界において『どのような問題が定数時間で解けるの

かを明らかにすること』は最も基本的な問いであり、そのような問いを解決することができたことに大変満足しています。定数時間アルゴリズムは理論的には非常に洗練されており、完成された分野だと言えます。しかしその一見非常に実用的に見える定義とは裏腹に、実際の問題にはほとんど使われていません。データが巨大になる中、定数時間アルゴリズムを実用的に使えるものに進化させていくことは、私の使命であると感じています。今回の受賞を励みに、定数時間アルゴリズム、ひいては理論に根ざした実用的なアルゴリズムの発展に貢献できるようにまい進していく所存です。」

以上

〈メディアの皆様からのお問い合わせ先〉

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所

総務部企画課 広報チーム

TEL:03-4212-2164 E-mail : media@nii.ac.jp